

授業基本情報

授業概要情報

授業計画詳細情報

授業科目名/Course Title	起業の実際と理論～アントレプレナーシップの養成～ / Practice and Theory of Entrepreneurship	
代表教員名/Instructor	野村 真穂 (その他)	
代表以外の教員名/Other Instructor	熊谷 朋子	
授業種別/Type of Class	講義	
時間割コード/Registration Code	G870800	
ナンバリング/Numbering ※ナンバリング説明へのリンク	1410601F	
開講学期/Semester	2022年度/Academic Year	後期/Second semester
開講曜日 時限/Class Period	【後期】 月 /Mon 9 , 【後期】 月 /Mon 10	
単位数/Credits	2	
科目等履修生の受入/ Acceptance of Credited Auditors	受入可	
連絡先/Contact	野村 真穂(C-learningの連絡・相談より連絡してください。)	
オフィスアワー/Office Hours	野村 真穂(C-learningの連絡・相談にて、随時質問や相談を受付けます。)	

更新日/Date of Renewal	2022/01/25
AL度 /Active Learning ※AL度説明へのリンク	AL80
実務家による授業回数 /Course Count ※実務家による授業回数説明へのリンク	7回
実務経験の内容、及び当該授業への実務経験の活かし方 /Instructor's practical experience and how it is utilized for this course	実際に起業されている方から起業に至るまでのプロセスや起業後の成功例や困難な状況に置かれた際の対応等についての事例紹介をしていただくことで、起業を現実的に捉えられるようにする。起業をする際に必要不可欠な資金調達の方法等も学ぶ。
地域に関する実践科目 /Practice Courses ※地域に関する実践科目説明へのリンク	〇
授業の内容 /Course Description	ベンチャー企業の事例や、実際の起業家との対話を通じ、「起業」という社会活動について学習し、これからの若者に必要とされる資質や起業家精神（アントレプレナーシップ）を養う。また、実際に自らのビジネスアイデアを考え、他者にプレゼンテーションすることで、企画・提案の楽しさを体験するとともに、ビジネスに必要な基礎的なスキルを習得する。
授業の到達目標 /Course Goals	起業家精神（アントレプレナーシップ）を養うとともに、基本的なビジネス知識の習得とアイデアを実現していく道筋を理解する。ビジネスやNPOなどの「起業」を志すだけでなく、今後の社会生活の中で必要とされる柔軟な発想力やそれを実現する力を養うことを目指し、就職先でも活躍できる力を育成する。
学修・教育目標との関連 /Educational Goals	変化する社会の中で未来を切り開く知力と行動力を持ち、社会的・職業的に自立して新しい時代に自分らしく活躍するために必要な、基盤となる姿勢と能力を育成する場を提供する。
前提とする知識 /Prerequisites	特になし
関連科目 /Related Courses	特になし
授業の具体的な進め方 /Course Methodologies	配布資料に基づく講義，外部講師との対話，ビジネスプラン作成演習・発表
教科書・参考書等 /Textbooks	教科書は使用しない予定。講義毎に適宜資料を配布します。
成績評価の方法 /Evaluation	出席状況，講義・演習への取り組み姿勢を評価（50%），講義で指示されるレポートの提出（50%）なお、新型コロナウイルス感染症の状況等により本授業のすべてまたは一部をオンラインに変更した場合の成績評価については、必要に応じて別途示します。
学習上の助言 /Learning Advice	授業では、ビジネスプランの作成を通じ、自らベンチャー起業家の疑似体験をしていただきます。 講義への参加にあたっては、実社会を広い視野で観察するよう心がけ、世の中の不都合や、こんなモノ・サービスがあると面白い、といった自分なりの「思いつき」を探しておいてください。
キーワード /Keywords	キャリア 起業

SDGsとの関連
/Related SDGs
※SDGs説明へのリンク

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



色の有無に関わらず、17のゴールは相互につながり、関係しています。色がついているゴールはこの授業において特に関連しているゴールです。

3C 到達度チェック
/3C evaluation for achievement items
※3C到達度チェック説明へのリンク

3C	9つの力		
Challenge 主体的に挑戦する	課題を見つけ出す力	Problem identification	○
	論理的に考える力	Critical thinking	
	情報を使いこなす力	Information literacy	
Change 自らを変える	表現する力	Communication	
	他者と協同する力	Collaboration	○
	キャリアデザイン力	Life and career	◎
Contribution 社会に貢献する	生み出す力	Creativity	◎
	チームワークを育む力	Teamwork	○
	地域に踏み出す力	Citizenship	

備考
/Notes

今後の新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン授業もしくは不定時開講に変更する可能性があります。

回 /Time	授業計画 /Class Schedule	授業時間外学修(予習および復習) /Preparation and Review	標準学修時間 (分) /Expected time commitment (min)
1	講義ガイダンス・先輩起業家による基調講演（アントレプレナーシップとは何か、なぜ必要なのか）	"・本授業のシラバスの内容を確認する。 ・「アントレプレナーシップ」の意味を調べておく。 ・わからなかった用語を調べるとともに、受講の自身の考え方をアウトプットする。"	40
2	起業概論（先輩起業家による講義：会社とは・企業とは・起業と何か）	・固定概念を持たないようにするため予習は不要 ・講義中の重要用語の意味について復習する。	30
3	起業におけるコンセプト作り（先輩起業家による講義：ターゲティング・マーケティング）	・「マーケティング」の意味を事前に調べておく。 ・講義中の重要用語の意味について復習する。	40
4	起業におけるコンセプト作り（先輩起業家による講義：事業計画・資金計画）	・資金調達方法には、どのような手段があるか調べておく。 ・「収入」と「支出」について復習する。	40
5	起業におけるコンセプト作り（先輩起業家による講義：バリューチェーン・ダイヤモンドチェーン）	・「バリューチェーン」の意味を事前に調べておく。 ・講義中の重要用語の意味について復習する。	40
6	プレゼンテーション、営業（先輩起業家による講義）	・「プレゼンテーション」の意味を事前に調べておく。 ・講義中の「プレゼンテーション」の意味を復習する。	40
7	ビジネスアイデア作成（先輩起業家によるブラッシュアップ）	・自身の体験から辛かったことや解決したい課題を考えておく。 ・講義後、可能な限り自分の考えをアウトプットする。	60

8	ビジネスアイデア発表会（個人）	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた要点に基づき、資料を作成しておく。 ・他受講生の発表を聞き、自分なりの疑問点をアウトプットする。 	60
9	ビジネスプランのグループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク後、グループ内で自主的に打合せを行う。 	60
10	ビジネスプランのグループワーク（メンターによるブラッシュアップ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスアイデアについて、自身なりの考え方をまとめておく。 ・グループワーク後、グループ内で自主的に打合せを行う。 	60
11	ビジネスプランのグループワーク（メンターによるブラッシュアップ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスアイデアについて、自身なりの考え方をまとめておく。 ・グループワーク後、グループ内で自主的に打合せを行う。 	60
12	ビジネスプランのグループワーク（メンターによるブラッシュアップ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスアイデアについて、自身なりの考え方をまとめておく。 ・グループワーク後、グループ内で自主的に打合せを行う。 	60
13	世界・全国に挑戦する起業家に学ぶ（講演）、ビジネスプランのグループワーク（メンターによるブラッシュアップ）	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の会社概要や人なりを調べておく。 ・わからなかった用語を調べるとともに、受講の自身の考え方をアウトプットする。 ・ビジネスアイデアについて、自身なりの考え方をまとめておく。 ・グループワーク後、グループ内で自主的に打合せを行う。 	40
14	ビジネスプラン発表会 ※グループワークを通じて作成したプランを発表してもらいます	<ul style="list-style-type: none"> ・発表項目に基づき、資料の作成と発表の役割分担について決めておく。 ・他受講生の発表を聞き、自分なりの疑問点をアウトプットする。 	60
15	審査結果発表・交流会（各回ゲスト講師、先輩起業家との交流の場を提供します）	<ul style="list-style-type: none"> ・最優秀ビジネスプランについて、なぜ優れていたのか自分なりの考えをアウトプットする。 	30
	※一部、講義内容や順番に変更の可能性有り		

- ① 1単位当たりの標準学習時間は45時間であり、授業外学修時間（予習・復習）や教育効果を踏まえて、授業の形態に応じ、15時間から45時間までの範囲で授業時間を設定しています。そのため、学生は授業時間以外に最大で30時間、自律的に予習・復習を行う必要があります。
- ② 学士課程のシラバスには、授業内外における主体的な学びの促進を目的に、授業時間外学修の基礎となる内容と標準学修時間を記載していますので、これを参考として①の主旨を踏まえ適切に予習・復習を行ってください。